



4

境松

境松は、1630年頃すでに大樹で、嘉麻郡と鞍手郡の郡境、村境としてこの名前が付いています。

しかし、干ばつのため枯れ、現在では石碑を残すのみです。また、永正3（1506）年権現山ごんげんざんの合戦で敵の捕虜の首を斬った所で、昔は首洗い池もこの辺りにありました。



5

合屋古墳

この古墳は、6世紀後半に築造された円墳横穴式石室で、前後2室からなる複室構造です。

いつ発掘され、どのような遺物があったのかは不明ですが、小竹町内に現存する唯一の石室古墳です。当地域の歴史資料として貴重なもので、小竹町文化財指定第1号になっています。



6

荒手地蔵堂

十三仏は、親族縁者の霊を弔う初七日から三十三回忌まで、13回の追善供養まづに本尊とする仏として祀ってきました。

荒手の十三仏は、前に権現池を望む自然豊かなところにあります。

小竹町には「十三仏さま」と称する石仏群を祀る風習があり、十三仏は町内に16か所あります。



7

武富戦争資料館

前館長 武富登己男氏は、戦争悲劇を繰り返す事のないようにとの思いから、この資料館を開館し、資料収集、展示、講演等精力的に活動しました。平成14年に84歳で逝去されたあと、その意志を夫人の智子氏が継ぎ、現在に至っています。見学を希望される方は、予約（☎09496-2-8565）が必要です。

開館時間は9時から17時まで。



8

御徳神社

祭神は、伊弉諾命いざなぎ、伊弉冉命いざなみ、少彦名命すくなひこ、大己貴神おおなむちの四神です。

この辺りは、南北朝時代、征西將軍懷良親王かねながが足利勢に対して布陣したと伝えられています。御徳神社は古くは蔵王社と呼ばれ、大和吉野の蔵王堂と同じ蔵王権現を祀っていました。